

## 平成30年教育委員会 第4回定例会

1 日 時 平成30年4月26日(木) 14時30分開会 16時46分開会

2 場 所 教育委員会庁舎3階 第1会議室

3 出席委員 教育長 林 秀 樹  
教育委員 笹 谷 純 代  
教育委員 小 澤 倭 文 夫  
教育委員 荒 田 純 司  
教育委員 常 見 幸 司

4 欠席委員 なし

5 出席職員 教育部長 飯 田 敬  
教育部次長 須 藤 慶 子  
教育部市立学校適正配置担当次長 石 崎 政 嗣  
学校教育支援室長 中 島 正 人  
学校給食センター所長 阿 部 一 博  
学校教育支援室主幹(指導担当) 大 山 倫 生  
学校教育支援室主幹(学務担当) 成 田 和 陽  
学校教育支援室主幹(市立学校適正配置担当) 佐々木 雅 一  
教育総務課長 笹 山 貴 史  
施設管理課長 伊 藤 雅 浩  
学校給食センター副所長 作 田 敏 春  
生涯学習課長 海 谷 昌 弘  
生涯スポーツ課長 丸 田 健 太 郎  
文学館・美術館副館長 小 林 由 美 子  
教育総務課総務係長 安 藤 英 明  
教育総務課総務係 会 沢 秀 紀

6 傍聴人 なし

7 議 題

- 議案第1号 小樽市立学校管理規則の一部を改正する規則案
- 議案第2号 小樽市教育支援委員会委員の委嘱案
- 議案第3号 小樽市奨学生選考委員会委員の委嘱案
- 議案第4号 小樽市学校給食センター運営委員会委員の委嘱案

- 議案第 5 号 小樽市社会教育委員の委嘱案
- 議案第 6 号 市立小樽美術館協議会委員の任命案
- 議案第 7 号 市立小樽美術館資料収蔵委員会の委嘱案
- 議案第 8 号 平成 3 1 年春の叙勲候補者の推薦案
- 協議第 1 号 今後の学校再編の進め方について
- 報告第 1 号 平成 3 0 年度小樽市立小中学校の入学式の状況について
- 報告第 2 号 平成 3 0 年度全国学力・学習状況調査について
- 報告第 3 号 平成 2 9 年度教職員の研修参加状況について
- 報告第 4 号 平成 3 0 年度小樽市教育委員会教員研修プログラム等について
- 報告第 5 号 第 3 0 回おたる運河ロードレース大会について
- 報告第 6 号 平成 2 9 年度監査報告について
- 報告第 7 号 第 7 次小樽市総合計画基本構想について
- その他
  - ・市議会第 1 回定例会について
  - ・寄付採納について

## 8 議 事

**林教育長** ただいまから、教育委員会第 4 回定例会を開会いたします。  
本日の会議の議事録署名委員に、荒田純司委員を御指名させていただきます。  
はじめにお諮りいたします。議案第 8 号「平成 3 1 年春の叙勲候補者の推薦案」は会議規則第 1 3 条第 1 項第 2 号により、協議第 1 号「今後の学校再編の進め方について」及び報告第 7 号「第 7 次小樽市総合計画基本構想について」は同項第 5 号により非公開とし、議事録につきましては結果のみ記載することとし、最後に御審議していただきたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。

**各委員** (異議なし)

**林教育長** では、そのように進めさせていただきます。  
早速議事に入りたいと思います。それでは、議案第 1 号 小樽市立学校管理規則の一部を改正する規則案の説明をお願いします。

### **議案第 1 号 小樽市立学校管理規則の一部を改正する規則案**

**教育総務課長** 議案第 1 号 小樽市立学校管理規則の一部を改正する規則案について、御説明申し上げます。3 枚めくっていただき、規則案の概要を御覧いただきたいと思います。  
改正の趣旨でございますけれども、本規則案は北海道立学校管理規則の一部改正がありまして、1 つ目は、所属職員の営利企業への従事等のうち、幼児、児童又は生徒の活動を支援するために特に必要と認められる団体が運営主体となる業務に従事することの許可は、これまで教育長が行うこととなっておりましたが、校長が行うことと改正されました。2 つ目は、

教育に関する兼職等のうち、市の審議会等で教育に関する事項を所掌するものの委員の職を兼ねることの承認についても、これまで教育長が行うこととなっておりましたが、校長が行うことと改正されました。

これによりまして、小樽市立学校管理規則においても同様の改正を行うものであります。具体的な内容としては、1つ目は、北海道で言いますと、子供の貧困対策等のために、地域の団体と連携して学習支援を行っている団体の業務に従事するものなどを想定しておりますけれども、本市で言いますと、公益財団法人である日本英語検定協会が実施している英検の試験の手伝いが例として挙げられます。2つ目の兼職の関係ですけれども、委員を委嘱する前に適任者を校長先生に推薦していただいているのが通例となっていますので、これは教育長でなく校長承認で可能としたもの、ということでございます。以上のとおり、これまで教育長権限だったものを、校長権限に移譲をする、という内容でございます。

以上でございます。御審議の程よろしくお願いいたします。

**林教育長** それでは、ただいまの説明に関しまして、御意見・御質問等ございましたらお願いいたします。

**小澤委員** 第19条第2項の幼児、児童又は生徒の活動を支援するために特に必要と認められる団体というのは、何か、それはこういう団体です、というような基準が定められているのでしょうか。私が質問したいのは、校長が、この団体はいい、この団体は準ずる、この団体は準じない、というふうに判断するのかどうか、客観的な理由というか、基準があるのかを聞きたいのですが。

**教育総務課長** 北海道に確認したところ、特にそういった基準はないということで、北海道が想定しているのが、先ほど申しあげました学習支援だとか、あとPTAなんかも対象となるようなことをお聞きしましたけれども、特にそういう団体についての規定等というのは作ってはないということでした。場合によっては、企業の経営内容などを確認する必要があるかもしれませんが、結論としては特に規定はないということです。

**林教育長** 要するに社会通念上という判断を校長に委ねる、今までは教育委員会がそれを行っていた部分を校長に委ねる、という形にするということですね。

**教育総務課長** その団体にちょっと疑義がある場合は、教育委員会のほうに御相談いただきたいというふうなことでお伝えしようかなとは思っておりますけれども。

**林教育長** よろしいでしょうか。

**小澤委員** はい、わかりました。

**林教育長** ほかにございませんか。

各委員 (なし)

林教育長 よろしいですか。それでは、本件を終了させていただきます。  
続きまして、議案第2号 小樽市教育支援委員会委員の委嘱案の説明をお願いします。

### 議案第2号 小樽市教育支援委員会委員の委嘱案

学校教育支援室主幹（指導担当） 議案第2号 小樽市教育支援委員会委員の委嘱案について、御説明いたします。

小樽市教育支援委員会は、医師や教育職員、児童福祉関係職員等を委員として組織しており、小学校の児童及び中学校の生徒並びに就学予定児童のうち、心身に障がいがあると思われる者の適切な就学支援等の教育支援を行うことを目的として設置しております。

4枚目の旧委員名簿を御覧ください。今回は、北海道余市養護学校の佐藤輝明先生と森朝美先生、北海道高等支援学校の立田祐子先生、桂岡小学校の佐々木俊朗校長先生、稲穂小学校の田中賢一校長先生、稲穂小学校の井川清文先生、北陵中学校の大和田愛先生、松ヶ枝中学校の鈴木均先生、赤岩保育所の深谷智佳子先生、市教委の難波主査が、退職や異動等により、辞任の申し出がございました。

2枚目に戻っていただき、新委員名簿を御覧ください。委員の任期は平成31年5月31日までで、改選は6月1日となっていることから、例年新たな委員の補充はしておりませんが、校長会から後任の推薦があり、幸小学校の加藤満幸校長先生と桜町中学校の岡本清豪校長先生の委嘱を提案するものです。また、先ほど申し上げた、北海道余市養護学校の佐藤輝明先生は、今年度から、難波主査の後任として市教委の職員となったことから、新たに任命するものです。

なお、他の新しい委員の委嘱については、来月の定例会にて改めて提案させていただく予定となっております。

以上、御審議のほど、よろしく願いいたします。

林教育長 ただいまの説明に関しまして、御意見・御質問等ございましたらお願いいたします。

各委員 (異議なし)

林教育長 よろしいでしょうか。それでは、本件を終了させていただきます。  
続きまして、議案第3号 小樽市奨学生選考委員会委員の委嘱案につきまして、説明をお願いします。

### 議案第3号 小樽市奨学生選考委員会委員の委嘱案

学校教育支援室主幹（学務担当） 議案第3号 小樽市奨学生選考委員会委員の委嘱案について、御

説明いたします。

小樽市奨学生選考委員会では、高等学校又は教育委員会が高等学校の課程と同等であると認めた学校に在学する市内の生徒が、経済的な理由により学費の支払が困難な場合、申請者の中から世帯の収入、成績などを勘案し、奨学生を選考しております。

3枚目の旧委員名簿を御覧ください。今回、朝里中学校長 なとりとしはる氏、北照高等学校長 みやかわつねみ氏から委員辞任の申し出がありました。

1枚戻って2枚目の新委員名簿を御覧ください。新たに小樽市校長会から松ヶ枝中学校長 くろかわひろゆき氏、小樽市高等学校長会から小樽明峰高等学校長 さとうせいいち氏が推薦されたことから、両氏の委嘱を提案するものです。

なお、補欠の委員のため、任期は前任者の残任期間である平成31年6月30日までとなっております。

以上、御審議のほど、よろしく願いいたします。

林教育長 ただいまの説明に関しまして、御意見・御質問等ございましたらお願いいたします。

各委員 （異議なし）

林教育長 よろしいでしょうか。それでは、本件を終了させていただきます。

続きまして、議案第4号 小樽市学校給食センター運営委員会委員の委嘱案につきまして、説明をお願いします。

#### **議案第4号 小樽市学校給食センター運営委員会委員の委嘱案**

学校給食センター所長 議案第4号 小樽市学校給食センター運営委員会委員の委嘱案について、御説明いたします。

この議案を提出いたしましたのは、学校給食共同調理場条例第4条の規定により設置しております、学校給食センター運営委員会委員13名のうち、1名の委員に交代がありましたので、この後任を委嘱するためであります。資料の1枚目が新委員の一覧表、2枚目が旧委員の一覧表になっており、交代する委員を太字で表記しております。

交代する委員についてですが、小樽市校長会推薦の菁園中学校長 ふくだのぶまさ 福田信正委員が本年3月末で退職したことから、後任として、同会より推薦のありました桂岡小学校 しばたまきこ 柴田眞公子校長を委員に委嘱したいと考えております。

なお、任期は、前任者の残任期間である平成31年10月31日までとなります。

以上、御審議のほどよろしく願いいたします。

林教育長 ただいまの説明に関しまして、御意見・御質問等ございましたらお願いいたします。

各委員 （異議なし）

林教育長 よろしいでしょうか。それでは、本件を終了させていただきます。  
続きまして、議案第5号 小樽市社会教育委員の委嘱案の説明をお願いします。

#### **議案第5号 小樽市社会教育委員の委嘱案**

生涯学習課長 議案第5号 小樽市社会教育委員の委嘱案について、御説明いたします。

この議案を提出いたしましたのは、社会教育法第15条の規定により設置しております社会教育委員13名のうち、1名の委員に交代がありましたので、この後任を委嘱するためのものです。資料の1枚目が新委員の一覧表、2枚目が旧委員の一覧表となっており、交代する委員を太字で表記しております。

交代する委員であります。学校教育関係者の塩谷小学校長 <sup>わたなべひでゆき</sup>渡辺秀行氏から辞任の申し出がありましたので、後任として、小樽市校長会から忍路中央小学校長 <sup>やまもとひろゆき</sup>山本博之氏が推薦されたことから、委嘱案を提案するものです。

なお、任期は前任者の残任期間である平成30年10月3日までとなっております。

以上、御審議のほど、よろしく願いいたします。

林教育長 ただいまの説明に関しまして、御意見・御質問等ありましたらお願いいたします。

各委員 (異議なし)

林教育長 よろしいですか。それでは、本件を終了いたします。

続きまして、議案第6号 市立小樽美術館協議会委員の任命案につきまして、説明をお願いします。

#### **議案第6号 市立小樽美術館協議会委員の任命案**

文学館・美術館副館長 議案第6号 市立小樽美術館協議会委員の任命案について、御説明いたします。

この議案を提出いたしましたのは、市立小樽美術館条例第16条の規定により設置しております美術館協議会委員9名のうち、1名の委員に交代がありましたので、この後任を任命するためであります。資料の1枚目が新委員の一覧表、2枚目が旧委員の一覧表になっており、交代する委員を太字で表記しております。

交代する委員であります。北海道立近代美術館 <sup>ちばこうじ</sup>地家光二学芸部長より退任届が提出されたため、後任として、<sup>とまなまこと</sup>苫名真現学芸部長を委員に任命したいと考えております。

なお、任期は、前任者の残任期間である平成31年10月31日までとなります。

以上、本任命案につきまして、御審議のほどよろしく願いいたします。

林教育長 ただいまの説明に関しまして、御意見・御質問等ございますでしょうか。

各委員 (異議なし)

林教育長 よろしいですか。それでは、本件を了承して終了いたします。  
続きまして、議案第7号 市立小樽美術館資料収蔵委員会の委嘱案につきまして、説明をお願いします。

#### **議案第7号 市立小樽美術館資料収蔵委員会の委嘱案**

文学館・美術館副館長 説明の前に、添付の資料なのですがすけれども、収蔵委員会委員名簿の旧のほう  
が、市立小樽美術館協議会委員名簿の旧のほうを間違っ添付しておりましたので、今お配  
りしました収蔵委員会の旧名簿のほうを御覧いただきたいと思ひます。

それでは、議案第7号 市立小樽美術館資料収蔵委員会委員の委嘱案について御説明いた  
します。

この議案を提出いたしましたのは、市立小樽美術館資料収蔵委員会設置要綱により設置し  
ております市立小樽美術館資料収蔵委員会委員4名のうち、1名の委員に交代がありました  
ので、この後任を委嘱するためであります。資料の1枚目が新委員の一覧表、今お配りしま  
した資料が旧委員の一覧表になっており、交代する委員を太字で表記しております。

交代する委員であります、北海道立近代美術館 地家光二学芸部長より退任届が提出さ  
れたため、後任として、<sup>とまなまこと</sup> 苫名真現学芸部長を委員に委嘱したいと考えております。

なお、任期は、前任者の残任期間である平成31年10月31日までとなります。

以上、本委嘱案につきまして、御審議のほどよろしく御願ひいたします。

林教育長 ただいまの説明に関しまして、御意見・御質問等ございましたら御願ひいたします。

各委員 (異議なし)

林教育長 よろしいでしょうか。それでは、本件を了承し終了させていただきます。  
続きまして、報告第1号 平成30年度小樽市立小中学校の入学式の状況につきまして、  
説明をお願いします。

#### **報告第1号 平成30年度小樽市立小中学校の入学式の状況について**

学校教育支援室主幹(指導担当) 報告第1号 平成30年度小樽市立小中学校の入学式の状況につ  
いて御報告いたします。

この度の入学式に際しまして、委員の皆様にはお忙しい中、来賓として出席していただき、  
ありがとうございました。

まず、指導の経過についてですが、卒業式以降、3月27日の臨時校長会において、入学  
式に向けた適切な実施及び報告について指導いたしました。卒業式の報告の際にも御説明い  
たしましたが、最悪の事態を想定した、危機管理の徹底を含めて、昨年度より一歩でも前進

するよう指導を続けてまいりました。その結果、実施形態や式場内の国旗の正面貼付など、市内すべての学校において、適正な形で実施されました。

国歌の伴奏については、ピアノ伴奏が小学校において2校、中学校において5校で、昨年度同様となりました。歌唱の状況については、全ての小中学校で「しっかり歌唱した」と報告を受けております。各学校の実施状況につきましては、2枚目の報告第1号資料として一覧になっております。

今後も、指導する教職員の歌唱の充実や儀式的行事のねらいを踏まえた内容を充実させるよう継続的に指導してまいりたいと考えております。

報告は以上でございます。

**林教育長** ただいまの説明に関しまして、御意見・御質問等ありましたら、お願いいたします。よろしいでしょうか。

**各委員** (なし)

**林教育長** それでは、本件を終了させていただきます。

続きまして、報告第2号 平成30年度全国学力・学習状況調査について、説明をお願いします。

## **報告第2号 平成30年度全国学力・学習状況調査について**

**学校教育支援室主幹（指導担当）** 報告第2号 平成30年度全国学力・学習状況調査について御報告いたします。

4月17日（火）、全ての小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に、平成30年度全国学力・学習状況調査が実施され、無事終了しました。市教委では、本調査の円滑かつ確実な実施のために、これまでと同様、3月23日に小樽市実施本部を設置し、27日の調査責任者会議及び4月3日の学校担当者説明会において、調査当日までのスケジュールや実施体制の確立など、順調に準備を進めてまいりました。

今年度の実施状況についてですが、小学校では756名、中学校では808名の計1,564名が調査を受け、未実施は、小学校で14名、中学校では32名の計46名となりました。未実施の理由としては、記載の通り、病気、法要など家庭の事情、不登校によるものとなっております。

今年度は、文部科学省から提供される結果は7月下旬の予定ですが、各学校には、速やかに自己採点を行い、校内の学力向上検討委員会等を開催して組織的に結果を分析し、早い時期に授業改善の方針を立て、児童生徒の個別の指導の改善に生かすよう指導しております。また、5月から実施される学校教育指導において、自己採点結果等の報告を求め、学校の実情に応じた学習状況等の改善点について指導してまいりたいと考えております。

なお、今年度も学力向上検討委員会を設置し、学力調査の結果から、国語と算数・数学の授業改善に向けた取組について協議するとともに、授業力向上研修講座の「理科」を開催し、

調査問題を踏まえた授業改善について研修を深める予定となっております。また、平成31年度の調査に向けて英語の確認テストを作成する予定となっております。

最後に、市教委としての公表の在り方については、基本的に昨年度と同様に教育委員会は小樽市の結果を公表し、各学校は保護者や学校評議員に自校の結果をお知らせするという対応を考えておりますが、具体的な方法等も含め、詳細につきましては、今後御協議いただければと思います。

報告は以上でございます。

**林教育長** ただいまの報告に関して、御意見・御質問等ありましたらお願いいたします。

**各委員** (なし)

**林教育長** よろしいでしょうか。それでは、本件を終了させていただきます。

続きまして、報告第3号 平成29年度教職員の研修参加状況について、説明をお願いします。

### **報告第3号 平成29年度教職員の研修参加状況について**

**学校教育支援室主幹（指導担当）** 報告第3号 平成29年度教職員の研修参加状況について御報告いたします。

昨年度2月末に、平成29年度における教職員の研修参加状況について、各学校へ報告を求め、市教委で集約して状況を把握いたしました。

参加延べ回数については、昨年度の2,835回を上回り、4,511回となっており、教職員は、管理職、一般教員、養護教諭、事務職員を含め613人で、一人当たりの平均参加回数は、7.4回となっております。また、研修へ参加した実人数は613人で、参加率は100%となっております。

参加延べ回数4,511回の内訳についてですが、小樽市教員研修プログラムへの参加が626回、いじめ防止キャンペーン期間中の研修会や教育研究所の検証授業など市教委主催研修会への参加が539回、初任段階教員研修や中堅教諭等資質向上研修、グローバル化に対応した英語教育指導力向上研修など道教委主催研修会への参加が407回、後志教育研修センターや北海道立教育研究所など研修講座への参加が113回、公開研究会への参加が468回、その他教育研究団体主催の研修会への参加が2,358回となっており、ここが昨年度より大幅に増加しております。ここにつきましては、学校を離れて研修に出ているということで見れば、授業研究や実技研修会を行っている小樽市教育研究会も該当するものと考え、今年度は数に含まれておりますので、このような回数となっております。

平成29年度の教職員の研修参加状況については、5月の校長会議で報告するとともに、今年度も、全ての教員が学校を離れて研修に参加し、研修した内容が自校の経営や授業の改善に効果的に反映されるよう、今後も継続的に指導してまいりたいと考えております。

報告は以上でございます。

林教育長 ただいまの報告に関しまして、御意見・御質問等ございましたらお願いいたします。  
よろしいでしょうか。

各委員 (なし)

林教育長 それでは、本件を終了させていただきます。  
それでは、次に、報告第4号 平成30年度小樽市教育委員会教員研修プログラム等について、説明をお願いします。

#### **報告第4号 平成30年度小樽市教育委員会教員研修プログラム等について**

学校教育支援室主幹（指導担当） 報告第4号 平成30年度小樽市教育委員会教員研修プログラム等について御報告いたします。

今年度の教員研修プログラムについては、平成30年度小樽市学校教育推進計画の取組を踏まえ、「年間を通じて学校改善の方策を探る」授業力向上特別研修講座を6講座、「日常の授業の改善を図る」授業力向上に関する研修講座を4講座、「今日的な課題に応じた実技講習」として実技講習会を6講座、「今日的課題に応じた実践的研修」として課題別研修講座を3講座、「先進校の実践に学び、学校改善に生かす」視察研修を1講座、計20講座を実施いたします。

研修会の内容については、まず、「授業力向上特別研修講座」では、昨年度に引き続き、前秋田大学で、現在埼玉学園大学の浦野教授をお招きし、今年度は、潮見台中学校と銭函中学校における校内研修の共同研究者として年間を通じた研修を行い、7月と11月の2回の講座を実施することにより、生徒及び学校体制の変容を検証し、その成果を市内の小中学校へ広げる取組を進めてまいります。

次に、「英語教育特別研修講座Ⅰ」では、文部科学省の直山調査官をお招きし、手宮中央小学校で開催するとともに、10月には、「英語教育特別研修講座Ⅱ」として、昨年度に引き続き、関西外国語大学の中嶋教授をお招きし、朝里中学校を会場として開催し、授業公開や講演会等を行います。

次に、「体力向上特別研修講座」では、筑波大学附属小学校の平川教諭をお招きし、奥沢小学校を会場として、授業公開や示範授業、講演会等を行います。

次に、今年度も「道徳教育特別研修講座」を開催し、筑波大学附属小学校の加藤教諭をお招きし、山の手小学校において授業公開及び筑波大学附属小学校の加藤教諭による示範授業や講演会等を行い、年間を通して道徳教育に関わる実践事例を作成することにより、その成果を市内の小中学校へ広がるよう取組を進めてまいります。

次に、「授業力向上研修講座」についてですが、今年度の特色として、「英会話スキルアップ講習会Ⅰ」を、英語教育推進校である手宮中央小学校を会場として、授業を伴う講座を開催し、小学校英語の教科化を見据えた教員の英会話のスキルアップを図ります。

次に、「実技講習会」ですが、今年度の特色として、体育実技研修会を開催し、小樽市小中

学校体力向上検討委員会の委員が講師となり、新体力テストや準備運動等の実施の工夫について研修を行います。

次に、「課題別研修講座」ですが、今年度の特色として、小中連携・一貫教育研修講座には、道教委の指定地域である当別町教育委員会の方をお招きし、当別町の実践を学び、その成果を広く市内の小中学校の取組に生かしてまいりたいと考えております。

最後に、今年度の視察研修ですが、学校力向上に関する総合実践事業の実践指定校である苫小牧市立拓進小学校と青翔中学校を視察することで、学力向上や学校の組織体制等に関する取組について、成果を共有していきたいと考えております。

次のページを御覧ください。報告第4号資料①ですが、今年度の教員研修プログラムについては、校長会議において提示し、各学校から積極的に参加するよう指導しております。

また、下の方にありますように、小樽市教育研究所の研究員による検証授業や図書館主催の学校読書活動推進研修講座、学校給食センター主催の食育研修講座、その他、学力向上実践交流会や英会話サロン、いじめ防止キャンペーン期間中の研修会など教員研修プログラム以外の市教委主催の研修会を20講座、予定しております。

次のページの、報告第4号資料②を御覧ください。昨年度、公開研究会を開催した学校は、小学校16校、中学校11校で、33校中27校でしたが、今年度は、小学校15校、中学校12校で、30校中27校が公開研究会を予定しており、特に中学校においては、全ての学校が公開研究会を開催する予定であると報告を受けております。

児童生徒の学力向上や新たな教育課題に対応するためには、教職員の資質・能力の向上を図ることが不可欠です。今年度は、教員研修プログラム20講座、市教委主催の研修会等20講座、公開研究会27校が予定されており、その他、道教委主催の研修会や道立教育研究所、道立特別支援教育センター、後志教育研修センターでの研修に、多くの先生方が計画的に参加し、教員一人一人の指導力の向上に努めることができるよう、校長会議等において指導してまいりたいと考えております。

以上でございます。

**林教育長** それでは、ただいまの説明に関しまして、御質問・御意見等ございましたらお願いいたします。

ございませんでしょうか。

**小澤委員** 前の報告（第3号）でも、参加率が100%ということですので、非常に充実した研修になっていると思います。そうなりますと今度は、参加から質的充実の方にとということが課題になっていき、そういう計画を練っていただいていると思いますので、各学校での還流、そして校内研修に生かすという御指導についてよろしくお願ひしたいと思います。

**学校教育支援室主幹（指導担当）** はい。

**林教育長** そうですね。参加が多くなれば、当然今度は内容の充実と、それをみんなに波及させていくということが重要になってきますので。

ほかにございませつか。よろしいですか。

各委員 (なし)

林教育長 それでは、本件を終了させていただきます。

続きまして、報告第5号 第30回おたる運河ロードレース大会について説明をお願いします。

### 報告第5号 第30回おたる運河ロードレース大会について

生涯スポーツ課長 報告第5号 第30回おたる運河ロードレース大会について御報告いたします。

第30回おたる運河ロードレース大会実行委員会総会を去る4月3日に開催し、来る6月17日(日)、色内ふ頭公園を会場として開会式8時30分、競技開始9時から開催いたします。申込みはすでに開始しており、4月4日(水)から5月7日(月)までとなっています。

今回の30回大会の主な取組や変更点などについて御説明いたします。

色内埠頭の立入禁止により会場レイアウトが変更になるほか、ハーフコースの一部が使用できなくなるため、新たなコースとして港町埠頭、第二号埠頭の通路を使用するなど、コースが変更となります。これらに伴い、交通規制箇所等についても一部変更となっています。

参加料につきましては、高校生以上のハーフ及び10kmの部でこれまで3,500円だったのを4,000円と、500円値上げをしています。

今年は30回大会と節目の開催となりますが、記念事業として、ゲストランナーの招へい及び前夜祭の開催を予定しております。ゲストランナーについては、オリンピック・メダリストのエリック・ワイナイナ選手を招へいし、ハーフコースの最後尾からスタートして、参加者のごぼう抜きに挑戦してもらうといった企画を検討しております。また、前夜祭につきましては、レース前日の6月16日(土)に小樽市観光物産プラザ(運河プラザ)を会場に開催を予定しております。これまで参加者への記録計測用チップ、ゼッケンをお渡しする受付につきましては、当日の朝のみとしておりましたが、参加者の利便性向上のため、前日にも受付を行います。また、小樽の地場産品等の提供による懇親会を開催し、ワイナイナ選手にも参加していただきランナー同士の交流を図り、小樽の観光PRにも寄与する取組としたいと考えております。

参加賞につきましては、昨年はスポーツリュックでありましたが、今年は、30回記念の特製バスタオルを製作することとしております。

昨年に引き続きまして、「小樽あんかけ焼そば親衛隊」に前夜祭及び当日会場で出展していただき、小樽のご当地グルメである「小樽あんかけ焼そば」を提供していただくことを予定しております。

参加者を増やす取組としましては、今年はポスター、チラシを新たに作成したほか、市ホームページの内容充実にも努めるとともに、小樽陸上競技協会のホームページとも連携し、PRに努めているところです。また、これまで小学生向けコース2.5kmとしておりましたが、より参加しやすい2kmへと変更しております。さらに、市内小中学校において、小学校3年

生以上の児童生徒全員に大会チラシを配布し、学校において申込みができるようにしております。こうした取組を通じて、市内の児童生徒の参加を積極的に促し、運動する機会を提供することで、児童生徒の体力向上に向けた取組の一助としたいと考えております。

最後になりますが、4月25日現在、1,457名の申込みがあり、昨年同期と比べますと110名の増となっております。また、大会を運営するためのボランティアを引き続き募集し御協力をお願いしてまいります。大会当日、委員の皆様には都合が付きましたら御臨席を賜りたくお願い申し上げます。

以上で、第30回おたる運河ロードレース大会の開催について御報告を終わります。

**林教育長** ただいまの報告に関しまして、御質問・御意見等ございましたらお願いいたします。昨年より110人ぐらい、今の段階でも多いということですね。

**生涯スポーツ課長** はい。

**林教育長** 増えるように祈るばかりですけれども、是非PRのほうも最後までお願いいたします。ほかにございませんか。

もう一点だけ、スタートとゴールになる会場、今年ちょっと改修工事があったということですが、そこら辺、競技との関係で注意している点とかございますか。

**生涯スポーツ課長** はい、色内埠頭公園の会場ですけれども、色内埠頭公園の中は使用できるようになっていまして、使えないのがエプロン、岸壁と言われる外側の部分なのですが、その部分をハーフのコースとして利用しております、その分が約1.2kmありまして、それを港町埠頭とか第二号埠頭のほうに増やして通路を使って、帳尻を合わせたということです。

今、建設部のほうに確認しておりますけれども、公園内にフェンスを建てる工事を、今現在しております。エプロンのほうに人が出ないような柵を作るような工事なのですが、工期は5月中に終わるということで、6月以降は普通に使えるということを聞いています。ただし、今までのフェンスの外側にトイレを置いたり、ごみのパッカーを置いたりとかということで、会場のレイアウトの一部には変更をしなければならないということで、多少はちょっと手狭になるのかな、と（思います）。芝生のほうもちょっと使えない所があるので、参加者の皆さんがテントを立てたり敷物を敷いたりして着替えされるようなスペースがあったのですが、そういった所が若干狭くなるのかな、ということで、ちょっと危惧はしております。

**林教育長** できるだけ、トラブルのないような運営で、事前にいろいろと打合せを行っておいていただければというふうに思います。

ほかにございませんか。よろしいですか。

**各委員** (なし)

林教育長     それでは、本件を終了させていただきます。  
それでは、報告第6号 平成29年度監査報告について御報告をお願いします。

#### **報告第6号 平成29年度監査報告について**

教育総務課長     それでは御報告いたします。

定期監査の対象につきましては、小中学校は4年で一巡するように、また、事務局は4年に1回対象となるスケジュールとなっております。平成29年度は、小学校3校と中学校2校の計5校で事務処理についての監査がありまして、いわゆる指摘事項はございませんでしたが、5校のうち2校で、「より適正な事務処理や効率的な事務処理を行うために、注意・検討を要すると認められる事項」がございました。

資料の左側に対象学校名と監査実施日、中ほどに監査委員からの指摘事項等、右側にその後の措置内容を記載しております。稲穂小学校・花園小学校・西陵中学校では指摘事項等はありませんでしたが、潮見台小学校・菁園中学校では、注意・検討を要すると認められる事項として、職務に専念する義務を免除される際の出勤管理票の記載、いわゆる義務免の出勤管理票の記載について、免除される年月日と時間を記載すべきところが、時間の記載がなかったもので、それぞれ時間を記載して是正措置をしております。

今回の定期監査で示された事項を踏まえまして、今後も各学校に対しては注意喚起や指導を行ってまいりたいと考えております。

以上でございます。

林教育長     本件に関しまして、御意見・御質問等ございますでしょうか。  
よろしいでしょうか。

各委員       (なし)

林教育長     より適正な執行に努めてまいります。  
それでは、次の報告事項でございます。市議会第1回定例会について説明をお願いします。

#### **その他 市議会第1回定例会について**

教育部長     それでは、平成30年小樽市議会第1回定例会について御報告いたします。

まず、お手元の資料の表紙をめくっていただき目次を御覧ください。

平成30年第1回定例会は、2月21日に本会議が開催されました。市長から新年度に向けた市政執行についての所信と主な施策の概要、平成30年度予算等の議案について提案説明があったほか、教育長から平成30年度教育行政執行方針の説明を行っております。

その後、2月26日から2月28日まで代表質問と一般質問が行われ、また、3月1日から3月9日にかけて予算特別委員会、3月12日、13日及び15日に総務常任委員会、3月14日に学校適正配置等調査特別委員会が開催され、最終的に会期を5日延長し3月20

日の本会議をもって終了しております。

以下、教育委員会に係る質疑の概要について報告いたします。

まず、代表質問ですけれども、共産党の新谷議員から、「学校適正配置について」ということで、2009年策定の「学校規模・学校配置適正化基本計画」に関することや、松ヶ枝中学校を最上小学校に移転させることなどについての質問が市長と教育委員会にございました。詳細は1ページから3ページに記載のとおりとなっております。

次に、一般質問ですけれども、公明党の千葉議員から、「発達障がいのある子どもへの支援について」ということで、教育委員会の対応や発達障害者支援法の一部改正に伴う取組について、現行の3歳児健診と就学時健診の間に新たに5歳児健診を行うことの必要性などについての質問がございました。詳細は4ページから5ページに記載のとおりとなっております。

次に各委員会の質疑についてですが、まず、予算特別委員会では、8名の委員から質問がありました。

自民党の中村吉宏委員からは、「スウェーデン芸術祭について」ということで、スウェーデン芸術祭実施の経緯などに関して、同じく自民党の濱本委員からは、「スウェーデン芸術祭について」ということで、スウェーデン芸術祭の事業の財源などに関して、「アイアンホース号について」ということで、修理費の財源に関して質疑がありました。次に、共産党の新谷委員からは、「新・市営プールについて」ということで、新市営プールの基本方針などに関して、「小樽公園再整備事業について」ということで、緑小学校跡の駐車場整備に関して、それぞれ市長部局に対して質問がございました。同じく共産党の酒井隆裕委員からは、「アイアンホース号について」ということで、アイアンホース号の運行再開に向けたスケジュールなどに関して、「コミュニティ・スクールについて」ということで、コミュニティ・スクール導入のメリットなどに関して、「放課後児童クラブについて」ということで、勤労女性センターの児童クラブに関して、「就学援助について」ということで、PTA会費を費目とするに関して、質問がございました。次に、民進党の佐々木委員からは「新市民プール・総合体育館施設規模機能等検討経費について」ということで、複合施設の基本方針などに関して、次に、公明党の千葉委員からは、「小樽海上技術学校の存続に向けて」ということで、海技教育機構との協議などに関して、「5歳児健診について」ということで、発達障がい心配される子供への支援などに関して、教育委員会と保健所に対して質問がございました。同じく公明党の斉藤委員からは「スウェーデン芸術祭について」ということで、小樽でスウェーデン芸術祭を行う意義に関して、それぞれ質問が、市長部局と教育委員会にございました。最後に、民進党の高橋龍委員からは「除排雪について」ということで、学校付近の除排雪に関して、質問がございました。以上の詳細は6ページから26ページに記載のとおりとなっております。

次に、総務常任委員会ですが、27ページに記載のとおり、教育委員会からは「平成30年度学校給食費について」と、「小樽市文化芸術振興計画の計画期間変更について」報告を行いました。なお、教育に関連する質問はございませんでした。なお、前回に引き続き「中村善策美術館（仮称）の設立方について」の陳情書が提出されましたが、反対多数により不採択となり、本会議においても同様に不採択とされております。

次に、学校適正配置等調査特別委員会ですが、教育委員会からは「学校再編に向けた取組状況について」報告を行っております。以下8名の委員から質問がありました。

まず、自民党の山田委員からは、「報告を聞いて」ということで、山の手小学校の通学路の安全対策などに関して、次に、自民党の酒井隆行委員からは、「報告を聞いて」ということで、学校跡利用に関して、次に、自民党の中村吉宏委員からは、「報告を聞いて」ということで、学校跡利用や、統合校の通学路の安全確保などに関して、次に、共産党の酒井隆裕委員からは、「報告を聞いて」ということで、コミュニティ・スクールに関して、「中央・山手地区中学校再編について」ということで、適正化基本計画の後期の進め方などに関して、「閉校する学校施設の跡利用について」ということで、閉校施設の小樽海上技術学校としての活用に関して、次に、共産党の新谷委員からは、「報告を聞いて」ということで、旧若竹小学校の売却に関して、「通学路の安全について」ということで、山の手小学校などの通学安全マップに関して、「指定校変更について」ということで、学校の適正規模などに関して、「閉校する学校施設の開放について」ということで、閉校施設の体育館を開放することに関して、次に、民進党の高橋龍委員からは、「報告を聞いて」ということで、旧若竹小学校の売却に関して、「山の手小学校の新設に関わって」ということで、学校図書館の整理などに関して、「閉校する学校施設の跡利用について」ということで、教育委員会で管理することとなった旧最上小・旧入船小・旧天神小の管理経費やグラウンドの貸付などに関して、「通学路の除排雪について」ということで、この冬の通学路の除排雪の方針などに関して、次に、公明党の斉藤委員からは、「山の手小学校の開校について」ということで、山の手小学校や奥沢小学校の学校規模などに関して、次に、同じく公明党の千葉委員からは、「山の手小学校の開校について」ということで、通学安全マップや、通学路の安全に関する教育委員会と関連部署の連携に関して、それぞれ質問が、市長部局と教育委員会にございました。詳細は28ページから54ページに記載のとおりとなっております。

報告は、以上でございます。

**林教育長** ただいまの報告に関しまして、御質問・御意見等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

**各委員** (なし)

**教育部長** なお、中村善作美術館の陳情が、繰り返し出されておりますけれども、前回不採択になった時に、議会事務局から不採択になったという連絡は御本人にしているのですけれども、理由は付されていないということで、再度今回また陳情書を提出されたようでございます。また、議会事務局からは不採択の通知だけが行くのですけれども、その後各議員に対して、なぜ不採択となったのかということを求める質問書があったようでございまして、ちょっと回答の様子はわかりませんが、一部の議員は回答したというようなことは聞いておりますけれども、そういう状況で2回にわたってこういう陳情があったということでございます。

**林教育長** それでは、続きまして、寄附採納について、説明をお願いいたします。

## その他 寄附採納について

教育総務課長 寄附が4件ございましたので、御報告いたします。

1件目は、有限会社北海道新聞中販売所様から、市内小中学校・市立図書館・総合博物館に対しまして、旧朝里村関連の地域郷土史の冊子である「小樽・朝里紀行」80冊、10万3,680円相当を御寄贈いただいたものでございます。

2件目は、株式会社小樽水族館公社様から、市内全小中学生に対しまして、おたる水族館の創業60周年記念年間パスポート7,100枚、752万6,000円相当を御寄贈いただいたものでございます。

3件目は、都通り商店街無農薬野菜即売会実行委員会様から、幸小学校及び望洋台小学校に対しまして、読み物や図鑑などの図書70冊、20万円相当を御寄贈いただいたものでございます。無農薬野菜の即売会の売上げの一部から、これまで、平成21年度から24年度までは市立図書館に4回、平成26年度からは毎年度小学校2校に図書を御寄贈いただいております。

4件目は、小樽みなとライオンズクラブ様から、同クラブ結成57周年記念事業として、市内小中学校に対し、海水浴海難防止用の小冊子「観天望気<sup>かんてんぼうき</sup>」400冊、約15万円相当を御寄贈いただいたものでございます。

報告は以上でございます。

林教育長 本件に関しまして、御質問等ございますでしょうか。

各委員 (なし)

林教育長 よろしいでしょうか。

それでは、本件を終了させていただきます。

それでは、ただいまから非公開の審議に入りますので、報道関係者及び傍聴の皆様がおられましたら、御退席をお願いいたします。

<非公開の審議開始>

## 協議第1号 今後の学校再編の進め方について

学校教育支援室主幹（市立学校適正配置担当）から、今後の学校再編の進め方について説明し、笹谷委員、林教育長、荒田委員から質問が、笹谷委員、林教育長、小澤委員、荒田委員から意見があったほか、全委員による協議が行われた。

## 報告第7号 第7次小樽市総合計画基本構想について

教育総務課長から、第7次小樽市総合計画基本構想について説明し、林教育長、小澤委員

から意見があったほか、全委員が了承した。

**議案第8号 平成31年春の叙勲候補者の推薦案**

教育総務課長から、平成31年春の叙勲候補者の推薦案について説明し、全委員一致により決定した。

<非公開の審議終了>

**林教育長** 以上をもちまして、教育委員会第4回定例会を終了いたします。